

伊木市長の重大な問題発言

拉致解決に、「もし、安倍内閣が軍事行動をするのであれば、全面的に支持する。」……憲法、尊重・擁護義務違反

市長、問題発言を「撤回」！

「一連の発言の趣旨は、決して間違っていない」？

市長は、発言の撤回後「自分の発言自体に、特に誤りがあったわけではない」と議会で居直り、「撤回は、誤解が解ける気配がない」と弁解。市長の、「軍事行動を支援する」という発言は、「誤解を招く」という類で消される問題ではない。「交戦権」を禁じた憲法に、反する発言だ。

市長と一問一答

十二月市議会

(遠藤議員)

市長は、議会開会前は、発言の撤回はしないという強い姿勢であった。撤回の判断に至った経緯について説明を求めたい。

(伊木市長)

その時点において、私の発言自体に特に誤りがあったわけではない。ただ、その後も誤解が解ける気配がないので、誤解を招いた文言を撤回した。

(議員)

市長は、発言に誤りはなかったという認識ですか。

(市長)

何度も説明してきた。私自身、今でも一連の発言の趣旨というものとは、決して間違っていないかったと思っています。

(軍事行動の発言も、ですか？)

(議員)

市長は、軍事行動を安倍(内閣)さんがしたら支援するという発言を、されたわけですね。

(市長)

軍事行動を直接的に支持するとう言い方は決してしていない。

(議員)

市のホームページの、市長のコメントには、「全面的に支持する」と載っているのではないですか。

(市長)

拉致被害の文脈の中で、「あれば」という言葉を使って、「例え」ということで使っている。軍事行動を支持するというような部分だけを切り取られては困る。

(議員)

時の市長として、軍事行動を支援すると言われたのですか。

(市長)

言葉として、軍事行動という言葉を使ったのは事実だ。

(議員)

市長は、「軍事行動を支援する」という言葉は、適正であったとの認識か、反省の弁が見えない。

(市長)

私自身、発言全体の真意に、特に誤りがあったとは思っていない。「誤解される部分」があったことは事実だ。

「市長は、「軍事行動」という発言に警戒心も無い。市民は、言葉の責任と反省を求めている。市長発言の背景に、「諸外国では、軍需力を背景に外交交渉を進めるのは普通のことだ」という、政治信条の表れではないかとの批判もある」

「拉致問題」の

早期解決に向けて！

(議員)

拉致問題解決の、一番有効な手段は何かについて伺いたい。

(市長)

国民世論が一丸となって、政府の行動を支持していくこと。ここが非常に重要だ。

(議員)

一番の障壁は、日本と北朝鮮の直接交渉を拒んでいる、米政府に責任があるのではないか。